

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券
信 託 期 間	約10年 2 カ月間（2011年 1 月 7 日～2021年 2 月25日）
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の債券
運 用 方 法	①主として、内外の債券に投資するとともに為替ヘッジ取引を機動的に活用し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②投資対象通貨は、米ドル、カナダ・ドル、豪ドル、ニュージーランド・ドル、ユーロ、英ポンド、スウェーデン・クローネ、ノルウェー・クローネ、デンマーク・クローネおよび日本円とします。 ③運用にあたっては、以下の点に留意しながら行なうことを基本とします。 イ. 米ドル、カナダ・ドル、豪ドルおよびニュージーランド・ドル建ての債券を「ドル通貨」の債券、ユーロ、英ポンド、スウェーデン・クローネ、ノルウェー・クローネおよびデンマーク・クローネ建ての債券を「欧州通貨」の債券とし、「ドル通貨」および「欧州通貨」の債券を信託財産の純資産総額の50% ずつとした投資割合を基本的な投資配分とします。 ロ. 各地域のマーケット分析およびファンダメンタルズ分析に基づき、通貨別の投資割合や投資債券の年限を決定します。なお、「ドル通貨」および「欧州通貨」の債券への実際の投資割合は、基本的な投資配分を中心に±20% 程度の範囲内とし、経済状況、金融市場動向、金利動向等によっては40% 程度を上限として円建ての債券に投資する場合があります。 ハ. 債券の種類は、国（政府および州を含みます。）、国際機関、もしくはそれらに準ずると判断される機関およびそれらの代理機関等が発行または保証するものとし、その格付けはA 格以上（ムーディーズでA 3 以上またはS & P でA－以上）に相当するものとします。 ニ. 金利リスク調整のため、債券先物取引および債券先物オプション取引を利用することがあります。 ホ. ファンドの修正デュレーションは0（年）程度から10（年）程度の範囲とします。 ④為替ヘッジ取引を機動的に行なうことにより、パフォーマンスの向上をはかります。 ⑤大和証券株式会社から運用にかかる助言を受けます。
株式組入制限	純資産総額の10% 以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続した分配を行なうことをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

ダイワ外国為替債券戦略ファンド
(ダイワSMA専用)

運用報告書 (全体版)
第 9 期

(決算日 2015年 8 月25日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外国為替債券戦略ファンド（ダイワSMA専用）」は、このたび、第9期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0 1 2 0－1 0 6 2 1 2
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4770>

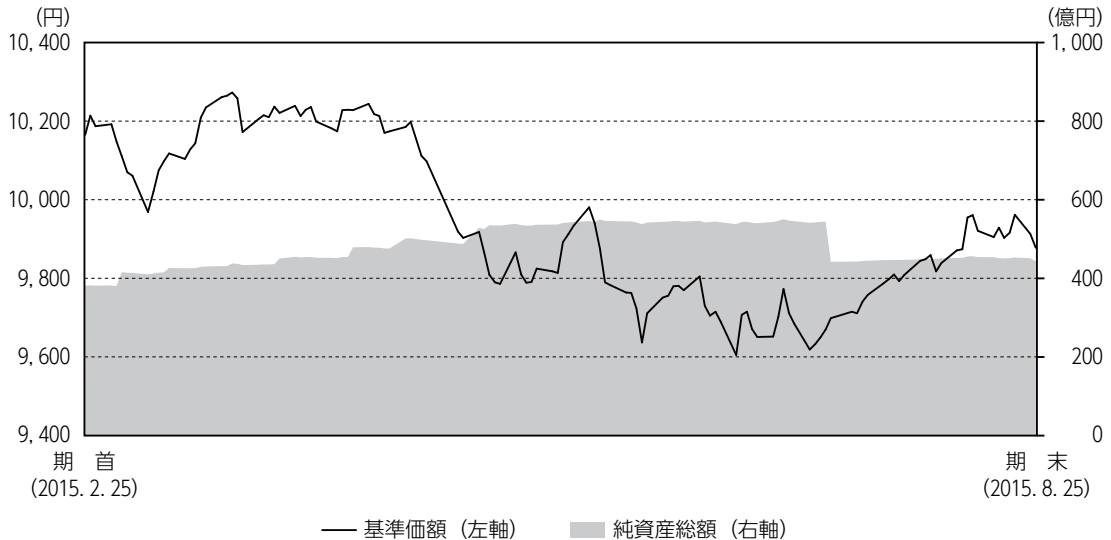
最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落	中 率			
5 期末 (2013年 8 月26日)	円 9,333	円 140	△	% 5.8	% 94.4	% 6.8	百万円 19,517
6 期末 (2014年 2 月25日)	9,612	170		4.8	93.0	7.6	20,696
7 期末 (2014年 8 月25日)	9,908	170		4.8	90.6	8.8	20,064
8 期末 (2015年 2 月25日)	10,165	630		9.0	95.6	5.0	38,085
9 期末 (2015年 8 月25日)	9,748	130	△	2.8	93.3	5.3	44,355

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
(注 3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期 首：10,165円

期 末：9,748円（分配金130円）

騰落率：△2.8%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

主として、内外の債券に投資するとともに為替ヘッジ取引を機動的に活用した運用を行なった結果、米国、ドイツなどの主要国で超長期債の価格が下落したことや、為替相場においてカナダ・ドルや豪ドルなどの資源国通貨が円に対して下落したことなどから、基準価額は値下がりしました。

ダイワ外国為替債券戦略ファンド（ダイワSMA専用）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2015年 2月25日	10, 165	—	95. 6	5. 0
2 月末	10, 187	0. 2	95. 6	3. 4
3 月末	10, 215	0. 5	84. 9	11. 2
4 月末	10, 112	△ 0. 5	89. 0	7. 9
5 月末	9, 934	△ 2. 3	88. 4	11. 8
6 月末	9, 707	△ 4. 5	88. 4	5. 0
7 月末	9, 809	△ 3. 5	95. 2	5. 2
(期 末) 2015年 8月25日	9, 878	△ 2. 8	93. 3	5. 3

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○債券市況

主要国債券市況は、2015年1月末から2月初めでいったんピークを打った流れを引継ぎ、期首から7月半ばにかけて調整局面が継続しました。特に4月下旬以降は、欧州の経済指標の好転、インフレ率の上昇期待、国債入札や社債発行による需給悪化懸念、ドラギECB（欧州中央銀行）総裁のボラティリティ上昇を容認する発言、ユーロ圏首脳会議でギリシャ支援が合意に達したことなどから下値余地を試す展開となりました。しかし7月半ば以降は、予想を下回る欧米の経済指標、欧州債券市場の需給バランスの好転、商品相場の下落などから、超長期債主導で市況は上昇基調に転じました。その後も、中国当局による人民元切下げを背景とした世界経済の減速懸念、グローバルな株式市況の下落、商品相場の下落から債券市況は世界的に逃避需要が高まり、期末にかけて戻り高値を更新する展開となりました。

○為替相場

為替相場は、期首から2015年4月にかけて、米国の利上げ観測を背景に米ドルが主に対欧州通貨で上昇基調となり、クロス円（米ドル以外の対円為替相場）は下落しました。またユーロは、ECBの量的金融緩和策の導入に伴い、下値を試す展開となりました。5月半ばにかけては、米国の軟調な経済指標などから早期利上げ観測が後退したことで、米ドルが対主要通貨で反落してクロス円が反発しました。その後、7月にかけてはイエレンFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の年内利上げを示唆する発言や堅調な経済指標から米ドルが反発しました。また円については、黒田日銀総裁の円安けん制発言やギリシャの債務不履行への懸念などから対主要通貨で上昇しました。7月半ばには、ユーロ圏首脳会合でギリシャ支援が合意に達したことで円が反落する場面も見られました。しかし期末にかけては、商品相場の下落や中国当局の人民元切下げを背景とした世界経済の減速懸念、また株式市況の大幅下落を受けて、円が対主要通貨で急反発する展開となりました。

前期における「今後の運用方針」

主として、内外の債券に投資するとともに為替ヘッジ取引を機動的に活用し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。また、大和証券株式会社から運用にかかる助言を受けて運用を行ないます。

なお、投資助言者の運用方針は以下の通りです。

・債券

グローバル債券市況は、上昇基調の継続を予測します。米国の利上げの可能性は景気減速や株式などリスク資産の軟化をもたらすことから、中長期的には長期債や超長期債などへの金利低下圧力が継続する展開を予測します。さらに、各国中央銀行の金融緩和姿勢の継続、低成長、低インフレなどからも、債券相場の地合いの継続が考えられます。引続き、市場動向に応じて債券先物を使った機動的なデュレーション操作を行なう方針です。

・為替

外国為替相場は、全般的には対主要通貨での米ドル高基調が一服する中、クロス円は通貨ごとにまちまちの展開ながら、円高圧力もやや緩和される展開が考えられます。ただし、米ドル円の動き次第では引続き上値も重く、調整色が強まる可能性も考えられます。また、外国為替のヘッジ戦略は、機動的にヘッジ比率を調整し、対米ドル、対円のみならず各クロス通貨間の分析を行ない、各通貨のヘッジ比率を弾力的に調整する方針です。

ポートフォリオについて

主として、内外の債券に投資するとともに為替ヘッジ取引を機動的に活用し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。また、大和証券株式会社から運用にかかる助言を受けて以下の運用を行ないました。

債券ポートフォリオは、ドル通貨圏、欧州通貨圏および日本の各国国債への分散投資を継続しました。グローバル債券市況は2015年7月ごろまで調整局面を迎えましたが、低成長・低インフレを背景とした大勢的な債券市況の上昇基調は継続しているとの予測に基づき、7月以降は強気のスタンスを継続しました。また、ポートフォリオの終利・直利向上の観点から、現物債券は長期化した平均修正デュレーションを維持しました。現物債券の購入以外での債券市況の変動に伴う主なデュレーション操作は、債券先物の売買を通じて行ないました。

外国為替部分はドル通貨圏、欧州通貨圏への分散投資を継続しました。外国為替のヘッジ比率は、グローバル株式市況の下落局面、予想を下回る欧米経済指標、原油価格下落や地政学リスクの継続など、リスク回避となった局面でヘッジ比率を引上げる一方、予想を上回る欧米経済指標やグローバル株式市況の反発局面などリスク選好となった局面では、ヘッジ比率を引下げる機動的なスタンスを取りました。また、対円・対米ドルのみならず各クロス通貨間の動向も注視し、通貨ごとにヘッジ比率を機動的に調整するスタンスも継続しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は130円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年 2月26日	2015年 8月25日
当期分配金（税込み）	(円)	130
対基準価額比率	(%)	1.32
当期の収益	(円)	130
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	183

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	132.53円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	180.54
(d) 分配準備積立金	0.00
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	313.08
(f) 分配金	130.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	183.08

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

主として、内外の債券に投資するとともに為替ヘッジ取引を機動的に活用し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。また、大和証券株式会社から運用にかかる助言を受けて運用を行ないます。

なお、投資助言者の運用方針は以下の通りです。

・債券

グローバル債券市況は、上昇基調の継続を予測します。人民元切下げを背景とした世界経済の減速懸念、グローバルな株式市況の下落、商品相場下落からリスク回避姿勢が強まっているほか、中長期的には低成長・低インフレが意識されやすく、債券市況の上昇に寄与すると予測します。引続き、市場動向に応じて債券先物取引を使った機動的なデュレーション操作を行なう方針です。

・為替

外国為替相場は、当面は円とユーロが強含む一方、資源国通貨などに対する米ドル高を予測します。またクロス円は、通貨ごとにまちまちの展開ながら、米ドル円相場下落により全般的に下落圧力がさらに強まる展開が考えられます。商品市況下落や中国の景気減速懸念が資源国通貨下落要因となる一方、キャリートレード（金利の低い通貨を調達して高金利通貨の資産に投資する資金の動き）の解消から低金利通貨が堅調地合いとなる可能性を想定します。外国為替のヘッジ戦略は、機動的にヘッジ比率を調整し、対米ドル、対円のみならず各クロス通貨間の分析を行ない、各通貨のヘッジ比率を弾力的に調整する方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 2. 26～2015. 8. 25)		
	金 額	比 率	
信託報酬	37円	0. 375%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 937円です。
(投信会社)	(24)	(0. 241)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(11)	(0. 107)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0. 020	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(先物)	(2)	(0. 020)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0. 009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0. 007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	40	0. 404	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当 期				末		
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 500,000	千円 577,602	% 1.3	% —	% 1.3	% —	% —

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分		当 期		末		
		銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国債証券		312 10年国債	% 1.2000	千円 100,000	千円 105,843	2020/12/20
		52 20年国債	2.1000	100,000	111,996	2021/09/21
		70 20年国債	2.4000	100,000	118,336	2024/06/20
		29 30年国債	2.4000	100,000	122,564	2038/09/20
		34 30年国債	2.2000	100,000	118,863	2041/03/20
合 計	銘柄数 金 額	5銘柄		500,000	577,602	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ外国為替債券戦略ファンド（ダイワSMA専用）

(3)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	当期							
区分	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入 比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 40,700	千アメリカ・ドル 57,921	千円 6,886,857	% 15.5	% —	% 15.0	% 0.5	% —
カナダ	千カナダ・ドル 65,000	千カナダ・ドル 107,910	9,663,372	21.8	—	21.8	—	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 29,600	千オーストラリア・ドル 35,990	3,075,373	6.9	—	6.9	—	—
ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル 11,600	千ニュージーランド・ドル 13,683	1,054,173	2.4	—	2.4	—	—
イギリス	千イギリス・ポンド 40,500	千イギリス・ポンド 57,595	10,798,505	24.3	—	24.3	—	—
ノルウェー	千ノルウェー・クローネ 47,000	千ノルウェー・クローネ 53,024	765,675	1.7	—	1.0	0.7	—
スウェーデン	千スウェーデン・クローネ 47,000	千スウェーデン・クローネ 61,673	886,862	2.0	—	2.0	—	—
ユーロ (フランス)	千ユーロ 1,500	千ユーロ 2,400	330,476	0.7	—	0.7	—	—
ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 32,600	千ユーロ 53,460	7,359,384	16.6	—	16.6	—	—
ユーロ (小計)	34,100	55,861	7,689,861	17.3	—	17.3	—	—
合計	—	—	40,820,681	92.0	—	90.8	1.3	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(4)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区分		当期			期末		
		銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
						外貨建金額	邦貨換算金額
アメリカ		United States Treasury Note/Bond	国債証券	% 8.1250	千アメリカ・ドル 500	千アメリカ・ドル 635	千円 75,510
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	8.5000	1,000	1,313	156,195
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	8.1250	3,000	4,121	490,070
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	7.6250	13,000	19,410	2,307,915
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	6.6250	6,100	8,935	1,062,433
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	6.2500	1,000	1,494	177,736
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	4.5000	5,000	6,677	793,978
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	4.7500	9,500	13,215	1,571,350
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	4.3750	1,600	2,116	251,666
通貨小計		9銘柄					
		銘柄数			40,700	57,921	6,886,857
		金額					
カナダ		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	9.0000	千カナダ・ドル 21,200	千カナダ・ドル 36,402	3,259,883
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	8.0000	31,600	54,027	4,838,188
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.7500	1,200	1,910	171,046
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.0000	1,000	1,539	137,867

ダイワ外国為替債券戦略ファンド（ダイワSMA専用）

区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	% 4.0000	千カナダ・ドル 10,000	千カナダ・ドル 14,030	千円 1,256,386	2041/06/01
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄			65,000	107,910	9,663,372	
オーストラリア		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.7500	千オーストラリア・ドル 10,000	千オーストラリア・ドル 11,995	1,024,998	2021/05/15
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.7500	10,000	12,252	1,046,967	2022/07/15
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.5000	9,600	11,742	1,003,407	2023/04/21
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄			29,600	35,990	3,075,373	
ニュージーランド		NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	国債証券	6.0000	千ニュージーランド・ドル 4,000	千ニュージーランド・ドル 4,705	362,482	2021/05/15
		NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND	国債証券	5.5000	7,600	8,978	691,691	2023/04/15
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄			11,600	13,683	1,054,173	
イギリス		United Kingdom Gilt	国債証券	8.0000	千イギリス・ポンド 15,000	千イギリス・ポンド 20,566	3,856,013	2021/06/07
		United Kingdom Gilt	国債証券	6.0000	13,000	19,251	3,609,501	2028/12/07
		United Kingdom Gilt	国債証券	4.5000	11,500	16,419	3,078,529	2042/12/07
		United Kingdom Gilt	国債証券	4.2500	1,000	1,357	254,461	2040/12/07
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄			40,500	57,595	10,798,505	
ノルウェー		NORWEGIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.5000	千ノルウェー・クローネ 20,000	千ノルウェー・クローネ 22,869	330,239	2019/05/22
		NORWEGIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.0000	10,000	10,658	153,911	2023/05/24
		NORWEGIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	3.0000	17,000	19,496	281,523	2024/03/14
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄			47,000	53,024	765,675	
スウェーデン		SWEDISH GOVERNMENT BOND	国債証券	5.0000	千スウェーデン・クローネ 20,000	千スウェーデン・クローネ 25,360	364,676	2020/12/01
		SWEDISH GOVERNMENT BOND	国債証券	3.5000	17,000	24,060	345,996	2039/03/30
		SWEDISH GOVERNMENT BOND	国債証券	3.5000	10,000	12,252	176,189	2022/06/01
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄			47,000	61,673	886,862	
ユーロ（フランス）		FRENCH GOVERNMENT BOND	国債証券	8.5000	千ユーロ 1,500	千ユーロ 2,400	330,476	2023/04/25
国 小 計	銘柄数 金 額	1銘柄			1,500	2,400	330,476	
ユーロ（ドイツ）		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	6.2500	千ユーロ 10,500	千ユーロ 15,664	2,156,437	2024/01/04
		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	6.5000	10,100	16,850	2,319,700	2027/07/04
		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	6.2500	10,000	17,375	2,391,911	2030/01/04
		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.7500	2,000	3,569	491,336	2040/07/04
国 小 計	銘柄数 金 額	4銘柄			32,600	53,460	7,359,384	
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄			34,100	55,861	7,689,861	
合 計	銘柄数 金 額	34銘柄					40,820,681	

（注１）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(5)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
国内		百万円	百万円
	長期国債	295	—
外国	T-BOND (LONG BOND) (アメリカ)	459	—
	T-NOTE (10YR) (アメリカ)	76	—
	T-BOND (ULTRA LONG) (アメリカ)	472	—
	GILT 10YR (イギリス)	313	—
	BUND (10YR) (ドイツ)	214	—
	BUXL (30YR) (ドイツ)	526	—

(注 1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注 2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

項 目		2015年 8 月25日現在	
		当 期 末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
公社債		41, 398, 283	91. 6
コール・ローン等、その他		3, 806, 181	8. 4
投資信託財産総額		45, 204, 464	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝118. 90円、1カナダ・ドル＝89. 55円、1オーストラリア・ドル＝85. 45円、1ニュージーランド・ドル＝77. 04円、1イギリス・ポンド＝187. 49円、1ノルウェー・クローネ＝14. 44円、1スウェーデン・クローネ＝14. 38円、1ユーロ＝137. 66円です。
 (注 3) 当期末における外貨建純資産（42, 566, 228千円）の投資信託財産総額（45, 204, 464千円）に対する比率は、94. 2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

		2015年 8 月25日現在	
項 目		当 期 末	
(A) 資産		75, 870, 184, 065円	
	コール・ローン等	1, 704, 938, 058	
	公社債（評価額）	41, 398, 283, 765	
	未収入金	31, 683, 823, 077	
	未収利息	389, 731, 120	
	前払費用	39, 981, 011	
	差入委託証拠金	653, 427, 034	
(B) 負債		31, 514, 971, 194	
	未払金	30, 741, 554, 467	
	未払収益分配金	591, 536, 455	
	未払信託報酬	180, 829, 093	
	その他未払費用	1, 051, 179	
(C) 純資産総額（A－B）		44, 355, 212, 871	
	元本	45, 502, 804, 301	
	次期繰越損益金	△ 1, 147, 591, 430	
(D) 受益権総口数		45, 502, 804, 301口	
1万口当り基準価額（C／D）		9, 748円	

＊期首における元本額は37, 468, 639, 458円、当期中における追加設定元本額は19, 376, 755, 868円、同解約元本額は11, 342, 591, 025円です。
 ＊当期末の計算口数当りの純資産額は9, 748円です。
 ＊当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1, 147, 591, 430円です。

■損益の状況

		当期 自2015年 2 月26日 至2015年 8 月25日	
項 目		当 期	
(A) 配当等収益		788, 214, 228円	
	受取利息	780, 515, 454	
	その他収益金	7, 730, 674	
	支払利息	△ 31, 900	
(B) 有価証券売買損益		△ 978, 528, 226	
	売買益	3, 322, 277, 672	
	売買損	△ 4, 300, 805, 898	
(C) 先物取引等損益		△ 776, 366, 560	
	取引益	430, 960, 386	
	取引損	△ 1, 207, 326, 946	
(D) 信託報酬等		△ 185, 141, 209	
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）		△ 1, 151, 821, 767	
(F) 追加信託差損益金		595, 766, 792	
	(配当等相当額)	(821, 536, 773)	
	(売買損益相当額)	(△ 225, 769, 981)	
(G) 合計（E＋F）		△ 556, 054, 975	
(H) 収益分配金		△ 591, 536, 455	
	次期繰越損益金（G＋H）	△ 1, 147, 591, 430	
	追加信託差損益金	595, 766, 792	
	(配当等相当額)	(821, 536, 773)	
	(売買損益相当額)	(△ 225, 769, 981)	
	分配準備積立金	11, 536, 564	
	繰越損益金	△ 1, 754, 894, 786	

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
 (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
 (注 3) 収益分配金の計算過程は14ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	603, 073, 019円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	821, 536, 773
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1, 424, 609, 792
(f) 分配金	591, 536, 455
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	833, 073, 337
(h) 受益権総口数	45, 502, 804, 301口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	130円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《お知らせ》

- 信託期間の延長について
信託期間を5年間延長し、信託終了日を2016年2月25日から2021年2月25日に変更しました。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年2月25日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）」は10,408円です。」